

# 定例教育委員会会議録

平成26年10月29日

境港市教育委員会（平成26年10月29日委員会会議録）

招集年月日 平成26年10月29日 15時30分

招集場所 市役所第一会議室

開 会 15時30分 委員長宣言

出席委員 ① 佐々木 邦広 ② 谷田 真基  
③ 足立 ひと美 ⑤ 永井 美央  
⑥ 赤石 有平

委員長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局長 門 脇 俊 史  
学校教育課補佐 松 原 隆  
学校教育課補佐 遠 藤 彰  
生涯学習課長 沼 倉 加奈子  
教育総務課係長 古 徳 健 雄

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課係長 古 徳 健 雄

提出議案 なし

協議事項 平成27年度当初予算編成に係る概算要求について  
平成27年度学校予算に係る要望について  
学校施設及び環境整備等教育に関する要望事項

報告事項 10月の行事報告、11月の行事予定など

足立委員長 定刻になりましたので、ただいまから10月の定例教育委員会を始めます。 今月は協議事項が、平成27年度当初予算編成に係る概算要求となっておりますが、教育委員さん方から質問や意見をいただいて、それについて担当課の方から補足なり事業に対する思いなど聞かせていただいて進めていきたいと思えます。

赤石委員 給食センター運営事業のところ、調理については5年経過後に委託の方針であるということが書かれていますが、事業を始める前から委託を考えるとということがあるのでしょうか。

教委事務局長 いずれにしても給食センターの調理については、経営的にも稼働後5年を目処に外部委託が望ましいと考えております。

赤石委員 事業を始める前から外部委託を前提に考えるというのは、私達の感覚にはないことでして、民間に委託すると利益重視とか色々なことが出てくるので、委託するにも子ども達の栄養のバランスへの配慮等も必要でしょうから聞いてみたところです。

足立委員長 軌道に乗ってきただけということですね。  
中学校グラウンドの芝生化ですが、ヒアリング内容に単価は夕日ヶ丘公園からとあるのはどういうことでしょうか。

教委事務局長 夕日ヶ丘に墓地公園を造り芝生化をしておりますので、その工事単価に準じてということなんです。

足立委員長 境小学校の給食室に市史編さん室兼郷土歴史資料館を移設するとありますが、なぜ境小学校なのかということと、ヒアリング内容にまちづくり構想から外すかと書いてありますが、まちづくり構想とは市民会館周辺のことでしょうか。

佐々木教育長

現在の市史編さん室は労働環境が悪く、沢山の資料をしまっておくところもない。できるだけ早くきちんとしたところを造らないといけないと考えております。まちづくり構想の中で、新たな市民会館ホールを含んだところも検討されていますが、教育委員会としては、できれば図書館機能や美術展ができるような展示室も含めてもらいたい。おそらく予算に限りがあるので、倉庫を含んだ市史編さん室は困難だと思われまます。境小学校の給食室は、改造すれば事務室と同時に歴史的資料の展示もできるということです。その中には海とくらしの史料館にあるものも含めて展示ができればと考えております。ただし駐車場が狭いので沢山の人が来ることはできません。

永井委員

境小学校とは、協議に入っているのでしょうか。

佐々木教育長

境小学校の校長先生には少し話しがしてありますが、市の施設として、どのように使うか考えなければなりません。

永井委員

まちづくり構想もあって、協議をしていく時期というのは難しいものがあるのではないかと思います。

佐々木教育長

まちづくり構想に入れるとすれば、結論が出るのはかなり先になります。

生涯学習課長

今年始まったまちづくり計画検討委員会の中で、図書館という言葉は出てきているのですが、市史編さん室には市民の目はいかないところです。現状も資料を山積みにして、市民の方のご質問に対して、少し時間をいただいて、お答えをするというような状況であるわけです。分館自体も古いので改修というところに踏み込まず、現状が保てるぐらいの手入れしかできていない中で、センター化により使わなくなる境小学校の給食室を、市史編さん室として活用する方法を概算要求しているところです。

まちづくり構想は今年度が基本構想で、来年度の基本計

画で肉付けをしていって、それから実施設計、工事という形で、早くても5年はかかるのではないかということです。

一方で今の分館が5年待てるのかというと、雨漏りもしている状況の中で、勤務状況もちろんですが、資料の保存が危ういところがありますので、今は教育委員会事務局側だけの判断ではありますが、少しでも空きスペースがあるのであれば、有効に活用したいと考えているところです。

赤石委員

施設としては最終的に市民会館の周辺に持ってくるとして、応急的に給食室が空いているから活用するという考えですか。

生涯学習課長

市史編さん室というのは、図書館と利用者層が違うという考えもあります。市民会館の限られたスペースの中で、市史編さん室の所蔵機能あるいは開架機能を加えることができるのかという中で、資料館的な位置づけで境小学校の方に移すということであればいいのではないのでしょうか。

赤石委員

市史編さん室というのは図書館と一緒にの方がいいようなイメージがあり、学校に併設されるような施設ではないような気がします。

生涯学習課長

海とくらしの史料館のあり方というのも少し関わってくるのかもしれませんが。歴史的な民具等を公開するという役も担っている中で、一カ所集中というのがなかなかできないことになっているので、ちょうど史料館と図書館の中間点という意味合いも付けられる。

市史編さん室の職員の方はキャリアがある人で、嘱託という形で雇用しているのですが、市民からの問い合わせに対して、即答でということは差し控えている部分もありますので、市史編さん室に来たその足で解決しましたとはならないこともあるので、少し足を運んでいただくことにはなりますが、ゆっくりと話しを聞かせていただけるスペースというの必要なのかと。図書館の隣にあるのが、一番

望ましいのかもしれませんが、限られたスペースをどのように使っていくのかということ、落ち着いた環境の中でじっくりと研究するというのを考えると、移設というのも考えるところでは。

佐々木教育長

まちづくり構想はあまり楽観的には考えておりません。防災施設であるとか、美保飛行場、自衛隊との交流の面での機能が第一になります。ホールといった施設の中に、図書館やその他の施設をどうやって入れていくのか課題が多い中で、市史編さん室については思い切って、給食室はまだ新しい施設ですし、調理道具等を整理すれば、学校に併設されていますし教育的な機能を子ども達に見せたい。

谷田委員

I C T活用実践先進校プロジェクトのところで、誠道小学校の方でタブレットパソコンを導入するというですけれども、非常に時代の流れに則した先進的な取り組みということで、積極的に進めていただければと思うところでは。予算についてはタブレットパソコンの購入代金自体が結構あるのかと思いますが、具体的には授業の中でどのような活用を考えられているのでしょうか。

足立委員長

誠道小学校の魅力づくりに重きが置いてあるような文章表現で、推進事業と魅力づくりをどのように考えておられるのでしょうか。先進校視察とか県教委との連携もあろうかと思いますが、そのあたりも含めて補足をお願いします。

学校教育課補佐

I C T活用については、ご存じのとおりタブレット端末を教室に持ち込んで活用すると教育効果が非常に上がるということで、県外でも先進的に取り組まれているところが沢山ございます。今回誠道小学校をモデル校にして、小規模校の中でI Tを活用しながら教育効果を高めていくということや、誠道小学校ならではの取り組みということで、将来的には全小中学校に導入していくプランはもちろんございますが、まずモデル校ということで、誠道小学校に導入を考えております。現在コンピュータ教室もござい

ますが、移動できないということで、実際に理科の授業で、校庭で撮ってきた植物の写真を教室に持ち込んで一緒に共有したり活用したりですとか、活動の中で自分の意見をタブレットに入力して、それを全児童で共有するだとか、色々な活用の仕方があります。すでに名和小学校の取り組みを見に行っていたという経緯もございます。まずモデル校として誠道小学校に導入して活用していくということで事業を計画いたしました。実は国の補助事業もあるのですが、なかなか指定校の数が少なく、県においてくる数も少ないというあたりで、手を挙げても当たらないという実態もございます。

佐々木教育長

誠道小の職員の方からやりたいということがございました。魅力ある学校づくりをしていきたい、新たなことに挑戦していきたいという中で、名和小学校に行き情報を集めているので、それなら後押しできるなら、後押ししたいし、これを足掛かりにして他の学校への導入も考えていく。

また、校長先生はロボットを入れたいということも考えておられて、独自に何とかしようという非常に活力があります。

赤石委員

小中学校用テント購入事業とは、どのような事業でしょうか。

学校教育課補佐

実は、今年境港海陸運送さんから寄附をいただいたという経緯がありまして、それで確認していく中で、どうも学校のテントが不足しているという状況が発覚いたしました。市長の方からもテントを整理するよとの話がありまして、今年度小中学校全体に必要なテントの3分の1を整備したところであります。残りを新年度事業としてあげさせてもらったところです。元々、境港海陸運送さんのテントがありましたので、同じ規格のものということで今年度納入しております。さらに今後も、全く同じ規格のものを購入する予定にしております。



しておりますが、鳥取県や本市にはあまり影響のあることではないかもしれませんが、何か新たな動きがあるでしょうか。

佐々木教育長

鳥取県は 35 人学級でやっておりますけれども、財務省が言っているだけで、文部科学省は 35 人で変わらないところで、国の方針がガラッと変わったときに、県の方針が変わりますとそれに対応していかなければなりません。市が単独で職員を増やして 35 人学級にすることは不可能な話しです。県に対して要望していくということになります。

赤石委員

基本的には一クラス 35 人までで、誠道小学校のようなところはどうか。

佐々木教育長

35 人学級というのは、35 人を超えますと学級が 2 つに分かれるということです。実際には本県の場合、小学校 1 年生と 2 年生は 30 人学級、中学校の 1 年生は 33 人学級となっています。なぜかと言いますと、小学校に入っただとということ、中学校の 1 年生は、急に不登校が増える時期にもなり、できるだけ少ない人数で、一人一人の生徒等としっかりと見られるようにと、鳥取県独自でやっております。国は小 1 のみ 35 人で、あとは全て 40 人なのですが、これから順次 35 人にしていくという方針を打ち出しているのですが、財務省がダメだと言っています。

永井委員

二中也 35 人という枠で考えていると、40 人になると教室が狭くなるという話しも出ていますけれど、国の方針が変わると困りますよね。

足立委員長

話しは変わりますが、不審者の件ですが、境小学校のホームページには見守りをお願いしますということが書いてあります。

佐々木教育長

非常に残念な事件ではありましたが、これを契機に、地域の見守り活動が一段と活発になったかと思います。近隣

の市町村の中でも境港市が一番活発ではないかと感じております。保護者は時間帯からいって見守りができないですが、高齢者の方を中心に見守り活動をしてくださっていますので、大変感謝をしているところです。

足立委員長                   では、報告事項をお願いします。

学校教育課補佐、生涯学習課長   各報告

赤石委員                    本当に幅広い活動があるのだなということで聞かせていただきましたが、ロシアのチームとの交流があったということで、私の孫も保育所に行っているのですが、境港に寄港したクルーズ船のお客さんが保育所に来て、ふれあいがあったということを知って、子ども達も印象が深かったようです。境港ならではの、外国人とのふれあいの機会があれば、積極的に活用していただければ、国際性が豊かな子ども達が増えるのではないかと感じたところです。

足立委員長                    同感です、よろしく願いいたします。

以上で予定していた議題は終了しましたので、本日の定例委員会は閉会といたします。ごくろうさまでした。